

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		法令を順守したスペース、配置数を配置しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		法令で必要とされる以上の人員を配置し、保育士、児童指導員、作業療法士など児童分野での経験と専門性の高いスタッフを配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		バリアフリーになっています。 独立したスペースはないので、室内に衝立等を利用し適切な活動ができるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		PDCAサイクルを心がけ、週一でのミーティングを行い、職員間での情報共有を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		H30年度より児童発達支援事業での保護者様の評価と事業者自己評価の公表を実施しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果をもとに職員会議等で討議し今後の業務改善につなげていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていませんが、毎年度、県実施指導を受け、改善を行っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		外部の研修に参加したり、施設内での月に1回必須課題として勉強会に参加しています。参加出来なかった職員には後日DVD研修をうけてもらっています。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		個々にアセスメントをさせて頂き、その情報を参考にガイドラインに則り支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>	今後必要に応じアセスメントツールの検討をしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		平成30年度より、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に表記しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		個別支援計画に則り、個別の課題、目標に合わせたプログラムを立案し提供しています。

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	当日の利用者の状態や気をつけること等打ち合わせを行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	支援終了後には、個別の記録を作成し報告、情報の共有を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	毎日個別の記録を作成し、状態の把握、今後の対応へつなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	概ね6ヶ月に1度、支援会議、評価、見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児童発達支援管理責任者や現場で深く関わっている職員も会議に参加しています
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	保育、幼稚園併用の際は年1回園訪問し情報共有を図っています。必要があれば保健センターや子育て支援センターとの連携を図っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	必要があれば相談支援専門員を介し地域医療、障害福祉との連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	必要に応じて、主治医の指示書をもとに、緊急時体制を整えています。また定期的にカンファを行い情報共有を図っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	相談支援専門員と共に保護者様の要望に応じて情報収集を行い相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	必要に応じて連携、又研修を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	行事を通して地域の保育園との交流を図る機会を設けています。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	現在のところ参加していません。必要に応じて参加を検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	登降園の際に子どもの状況や課題について話をする時間を作ったり、母子通園の保護者様とは活動を通し個別の相談や課題等の話をしたりしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	保護者の不安が大きい時には、思いに寄り添い対策を一緒に考えています
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に説明をおこなっています。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		半年を目安に児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を丁寧に行っています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日頃から保護者からの相談を受けていきます。また、定期的にあセスメントを行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父母の会主催の親睦会や研修会を実施しております。当事業所は母子通園施設もあり、保護者同士の交流の場となっています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		随時、相談に応じて、電話や面談にて対応しています。苦情受付窓口の案内は契約時、重要事項説明書にて保護者様へ説明をしています。意見箱の設置も設けています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のおたよりにて行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報等の管理について十分な注意を行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者の理解力や特性にあったやり取り、家庭の状況等に配慮したやり取りを心がけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		こども発達医療センター全体としてイベントを企画しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		策定し、事業所内に掲示しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年二回の総合避難訓練と月1回の避難指導を実施しています。保護者様と一緒に風水害や地震を想定した訓練も実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に保健調査票を提出してもらい把握しています。また必要に応じて聞き取りを行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		検査結果を踏まえ保護者様へ栄養士からの聞き取りを行い提供しています。提供時には食事と共にアレルギー食用献立表と照らしあいながら職員の目視確認と保護者様の確認を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングでの報告や書面での確認等情報共有を図っています。リスク会議を月1回実施しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		当事業所で年1回必須課題とし全職員、研修に参加しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		生活上必要な身体拘束については、ご家族又は成年後見人等に事前説明上同意を受けさせていただきます。また、緊急やむを得ない身体拘束については切迫性、非代替性、一時性を考慮し、必要な対応をいたします。また身体拘束を実施した時間、様子を記録しています。